

4) フォーレージ・ハーベスター

(1) 用途

牧草やデントコーンなどの飼料作物を刈取り、または、既に刈取られた牧草を拾い上げ、細断し、吹き上げを行って運搬車に積込む作業に使用する。

(2) 構造

構造により、フレール型とユニット型がある。フレール型は、フレール刃によって刈取ると同時に細断してシートを通じて運搬車に積込む方式のもので、シングル・カット式とダブル・カット式がある。

ユニット型は、フライホイール又はシリンダー型カッターで細断と吹き上げを行うベース本体に、使用目的に応じて刈取り・拾い上げ用のユニットを交換して取付けられるものである。そのうち、モアーバー・ユニットは、立毛状態の牧草をかき寄せてモアーバーで刈取り、オーガーで中央に集めてベース本体に送り込むもの、ピックアップ・ユニットは、予乾した牧草の集草列をタインで拾い上げるピックアップと送り込みオーガーからなるもの、ロー・クロップ・ユニットはデント・コーンなどの列条作物の刈り取りを行うものである。

(3) 取扱い上の留意点

圃場の土などが混入しないように刈高さの調節に注意する。また、特に、ユニット型では、所要動力も大きいので、トラクターの大きさ適合した機械を選定する必要がある。

(4) 安全作業のポイント

トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

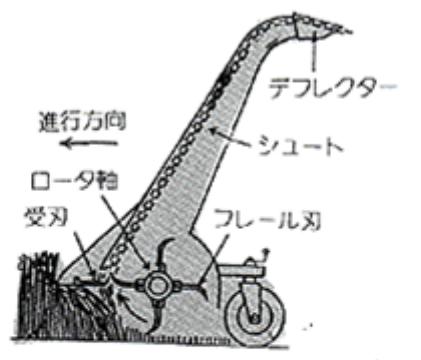
PTO軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。

点検・調整・修理や詰まりの除去は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。

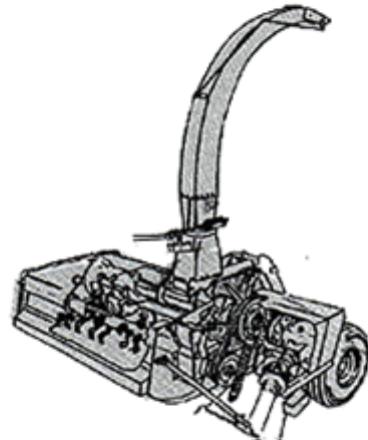
着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

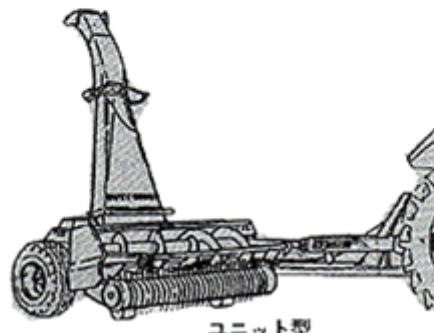
移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。補助者を含めてPTO軸やピックアップ、特に、手刈りしたコーンなどの投げ込み時の巻込まれ事故に注意が必要である。また、切断刃などへの巻込まれや接触事故などに注意する。



フレール型（ダイレクト・カット）型



フレール型（ダブル・カット）型



ユニット型